

基本情報



【年 齢】
46歳
【出身地】
兵庫県神戸市
【転出元】
千葉県佐倉市
【前 職】
銀行員、国内旅行添乗員、
商社貿易事務、ショッピング
モール営業事務（販促・
広報）
【活動時期】
R2.4.1～

協力隊に応募したきっかけ

国内旅行の添乗員を10年間経験する中で、地方の良さや魅力を知る機会がたくさんあった。いつか移住するなら北海道か長野と決めていた。

子どもが生まれてから自然豊かな環境で子育てをしたという思いが強まり、「田舎暮らし」のキーワードから協力隊制度を知って自分の個性や過去の添乗員経験も活動に活かせると思い、大好きな八ヶ岳エリア（原村）での募集があったので応募した。

今後の抱負・任期後の目標

- ・協力隊として移住業務に関わる中で、まちづくりへの興味が深まってきている。これまでの活動と培ってきた人脈を活かし、引き続き原村のPRや活性化に携わりながら退任後も民間の立場から原村を盛り上げたい。
- ・空き家を活用したシェアハウス等の開業を検討中。
- ・退任後は地元企業に入って地域に定住予定。
- ・後輩隊員の相談対応やアドバイスをを行い、先輩としてできる限りサポートしていきたい。

活動内容

●カフェでの移住相談対応、移住体験イベントの企画運営など

村内の観光施設 八ヶ岳自然文化園にあるレストラン デリ&カフェ「K」にて、簡単な観光案内を含めた移住相談対応を行う。移住推進機関等が主催するイベントや、村主催の協力隊募集説明会にも相談対応スタッフとして参加。

令和4年度は初の試みとして、協力隊が参加者をおもてなしする移住体験イベントを企画・運営。また、移住ガイドブックのリニューアルに伴い、取材先の選定・同行や編集調整などを行った。



●イベントを通じた原村のPR活動など

任期中に活動費で取得した資格（キャンプインストラクターやネイチャーゲームリーダー等）を活かし、村内小学生向けの野外活動講座で講師を務めたり、観光客向け自然体験イベントを企画・運営し、イベントを通じて村の豊かな自然環境の魅力PRを行う。

令和4年度は地元新聞社とのコラボ企画で村の魅力を掲載した折込み紙面作成のため、取材・編集に関わる。



●SNSや広報誌等での情報発信

自らの提案で、任期2年目より毎月村の広報誌で移住者家族の紹介ページを連載。取材・編集までを自分で言い、これまでに20家族を紹介。

現役隊員4人で運営するSNSでは原村の暮らしや移住に関する情報発信を担当し、インスタグラムのフォロワーは3600名を超える。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】

メールアドレス：kurasu@vill.hara.lg.jp

電話番号：原村役場 商工観光課 田舎暮らし推進係 0266-75-0669

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなどのURL】

インスタ：https://www.instagram.com/haramura_nagano/

FB：https://www.facebook.com/haramura.chioko